



# みなみの風

あいさつ・つたえあい・チャレンジが自慢  
～優しい言葉があふれる坂下南小学校～

## 2学期もよろしくお祈いします

校舎に元気な子ども達の声が戻ってきました。みんな、夏休み中の出来事などを話しながら、再会を喜び合っていました。ご家庭で暑さ対策等の工夫をしながら、楽しく過ごす様子も伝わってきました。

始業式では、6年生の代表児童が、夏休みの反省と2学期の目標を発表しました。真剣に話を聞く姿から、子ども達の今後の成長への期待が膨らみました。職員一丸となり、子ども達のやる気を大切にしながら力を伸ばしていきたいと思ひます。2学期も、どうぞよろしくお祈いいたします。



## 2学期の重点は、「つたえあい(協力)」「チャレンジ」

始業式で、2学期に特にながばってほしい ①つたえあい(協力) ②チャレンジ について話しました。そのためには、みんなで、『分からないから教えて』と言える、何を言っても聞いてもらえる、安心できる学級」をつくっていくことが大切であることを、3月のWBCで優勝した侍ジャパンのチームづくりに触れながら話をしました。

子ども達とともに、様々な教育活動をとおして、協力する子、チャレンジする子を育て、目指す児童像に迫っていきたくと思ひます。ぜひご家庭でも、機会あるごとに2学期の重点を意識させ、励ましていただければと思ひます。

## 2学期がなばってほしいこと

◎ つたえあい(協力)

◎ チャレンジ

### 侍ジャパンの強さの秘密

- ♡ **自分のよわさを見せてもばかにされない、自分らしくいられるチーム。(安心)**
- ♡ **話し合いを大切にし、目標を達成するために、何でも言い合えるチーム。(高め合い)**

「分からないから教えて」と言える、何を言っても聞いてもらえる安心できる学級

## 夏休み中、メディアと上手につき合えなましたか？

学校だより第10号で、メディア利用に係る「家庭のルール」チェックリストを紹介し、ルールづくりとそれを守らせる重要性についてお伝えしたところですが、夏休み中の様子はいかがだったでしょうか。猛暑で家の中で過ごす時間が多くなり、ルールがなかなか守れななかつたというご家庭もあつたのではないかとと思ひます。2学期の生活リズムを整えるために、ご家庭のルールの確認と見直しは大切です。裏面に、昨年の学校だよりで紹介したルールづくりQ&Aを再度掲載いたしますので、参考にさせていただければと思ひます。

裏面もご覧ください

# ルール作りの参考に！

『子どもスマホルール』（兵庫県立大学准教授 竹内和雄 著）という本に、ルール作りのポイントがQ&A形式で分かりやすく載っていましたので、一部をご紹介します。ご家庭でのルールづくりの参考にしてください。（語句を変えたり省略したりしています。）

Q

子どもがスマホゲーム漬けです。毎晩寝るのが遅くなってしまいます。もうすぐ中学生なので、先が心配です。

A

話し合いで決めたルールは守られます。  
親が子にネット依存回避を教えられるのは中学生までです。

- 話し合って作られたルールは破られにくいです。
- 高校生になるまでに、スマホルールを作ったり、守れなければ作り替えたりする。それを繰り返しながら自律に近づけていくのです。親ができるのは「自律の手助け」です。

Q

子どもと一緒にルールを決める時のコツはありますか？

A

子どもの言い分を聞いた「フリ」をして、子どもに「勝ち取った」と思わせてあげることです。

- 厳しいルールの理由をしっかりと説明 → 厳しいルールは親の愛情です。
- ルールを決めたら「信じている」と伝える → 「あなたなら大丈夫」
- 決めたルールは紙に書いて見える場所に貼る → 家族全員が見える場所

Q

話し合っ、ルールを決めましたが、破ったときのペナルティで迷っています。

A

必ずペナルティを決めてください。最初からうまく付き合うのは難しいです。自分から行動を変える契機が必要です。

- 基準をはっきりさせる → ×「早めに終わる」 ○「夜9時まで」  
○「1日1時間以内」※曜日で変えようまくいく
- ペナルティを決める → 「翌日は1時間減らして夜8時まで」「1週間使用禁止」など、具体的に決める
- 親も妥協しない → 「今回だけ許す」とは言わない 妥協しない

その他

上手くいかないときは、子どもとしっかり話し合っ、修正する。子どもに押されてその場しのぎで例外等を作るのではなく、落ち着いて話し合っからのルール変更がよいです。